

2025年度 授業コード: 22111900

授業科目	社会的養護 I					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	山根 正夫										
授業概要	子どもたちは未来の社会を創造する大切な存在です。しかしながら児童虐待など子どもの問題も深刻化・顕在化しており、それに伴い社会的な養育の必要性が謳われている。いかなる環境で育っている子どもであっても人格が尊重され、子どもの最善の利益に基づいて、その健やかな育ちが等しく確実に保障される必要がある。社会的養育を巡っては子どものニーズに応じた養育の提供や施設の改革などの着実な推進に向けてロードマップは示されているが、この授業ではこれらの点について学習し、社会的養育を必要とする子どもと家族を支援していくための、社会の変化を踏まえて、その理念、制度、方法などの基本的内容を理解できるよう実務家教員としての経験を踏まえて内容が構成されている。										
授業形態	対面授業			授業方法	毎回課題内容についての予習内容へのフィードバックを含めて教科書を参考に解説し理解および思考の深化をはかる。						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解している。</li> <li>2 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解している。</li> <li>3 社会的養護の制度や実施体系等について理解している。</li> <li>4 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解している。</li> <li>5 社会的養護の現状と課題について理解している。</li> </ol> 上記目標について概ね理解している。定期試験で70%に到達できること。										
理想的レベル	標準的な目標に加えて、社会的養護について十分な知識があり、また実際の課題解決に向けて思考することができる。定期試験の結果で90%理解ができていること。										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法			評価割合 (数値)				備考				
試験			100								
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
<b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21602J
<b>学習課題 (予習・復習)</b>											
テキスト該当箇所を予め通読し、演習課題について考えた内容を記述しておくこと											
<b>授業計画</b>											
第1回	オリエンテーション：授業についての概観 ー社会的養護とは何かその現代的課題と基本理念と概念について解説する。										

第2回	社会的養護の歴史の変遷 －欧米や我が国の社会的養護に係る歴史について概要を解説する。
第3回	今日の社会的養護について －子どもを取りまく状況や、社会で養育を支援するということについて解説する。
第4回	子どもの人権擁護と社会的養護 －子どもの権利擁護とは何か、及び権利擁護と社会的養護の在り方について解説する。
第5回	社会的養護の基本原則 －社会的養護の基本的な考え方および運営指針における社会的養護の原理について解説する。
第6回	社会的養護における保育士等の倫理と責務 －保育士等の倫理と責務及び職務と責務について解説する。
第7回	社会的養護の仕組みと法体系 －「児童福祉法」「児童虐待防止法」等について解説する。
第8回	社会的養護の仕組みと実施体系 －措置制度による社会的養護および社会的養護の実施体系について解説する。
第9回	社会的養護の対象と支援のあり方 －乳児院・児童養護施設などの児童福祉施設、障害児施設と特別な支援が必要な子どものための施設等の現状・機能・実際について解説する。
第10回	家庭養護と施設養護 －家庭養護および施設養護の意義等について解説する。
第11回	社会的養護に関わる専門職 －専門職の職務内容・役割について解説する。
第12回	施設等の運営管理 －施設の役割と理念目標と計画およびPDCAサイクルについて解説する。
第13回	被措置児童等の虐待防止 －被措置児童への虐待およびその防止について解説する。
第14回	社会的養護と地域福祉 －地域で暮らすこと、地域の福祉ニーズについて解説する。
第15回	他機関との連携および全体のまとめ －社会的養護に関連する地域での社会資源や連携の在り方の課題を整理し、社会的養護Ⅰ全体について総括する。
テキスト	松本峰雄 監修(2024) 社会的養護Ⅰ・Ⅱ演習ブック ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介する。

課題に対するフィードバックの方法	提出物については、次回の授業時にフィードバックし、その内容を確認します。
学生へのメッセージ・コメント	2年次の児童・家庭福祉で学んだ内容について復習して授業に参加してして下さい。 社会的養護Ⅱにつながるものとしてこの授業内容を標準的レベル以上に理解しておくことが求められます。 社会的養護を必要とした子どもたちの語りをまとめた文献等を読み、現状と課題だけでなく、その心情に配慮した養育のあり方についても思考の範囲をを広げてほしい。